

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 5 月 27 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200213		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 長東		
所在地	広島市安佐南区長東西3丁目1-5 (電話) 082-230-3030		
自己評価作成日	平成25年4月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年5月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様とその御家族の「思い」を職員全体で真摯に受け止め、日常生活の中で自然と対応できるように努めている。中でも「看取り」の希望が複数寄せられており、都度対応し、喜んで頂いている。常に利用者様の笑顔を願いながら日々の業務に当たっている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームほのぼの苑長東（以下、ホーム）は、古い町並みと新しい団地が混在する地域にあります。周辺には、商店や病院、学校などがあり、暮らしの利便性が良い場所に位置しています。</p> <p>ホームでは、入居後も地域と繋がって暮らし続けることを大切に支援されており、町内清掃や地域行事への参加や、買い物や散歩時に地域住民と挨拶を交わし世間話をするなどの関係を築いておられます。小学生の職場体験や大学生の実習の受け入れを積極的に行っておられます。</p> <p>また、ホーム主催の夏祭りに地域住民へ参加の呼びかけをするなど、ホームの強みを地域に還元し、世代を超えて交流されています。</p> <p>食事では、温かみのある家庭料理をホームで調理し提供されています。献立作りから調理、後片づけまで入居者と職員が一緒に行ったり、時には、外食に出かけたりして飽きのこないよう工夫されています。</p> <p>毎日の生活を決められたスケジュールで過ごすのではなく、入居者が笑顔で暮らせるよう、その時にしたいことを大切にされた支援に取り組まれておられます。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開設時、職員全員で作った「理念」を毎朝申し送り時に唱和し、職員全員の周知徹底を図り、毎日その「理念」に添うサービスを提供出来るよう努めている。	真心と笑顔をもって、入居者の楽しみと喜びに繋がる支援となるよう理念を作成されています。訪問当日の食事やレクリエーションで入居者の笑顔が多く、理念の浸透が伺えました。また、職員も同様に、笑顔で穏やかな姿勢で入居者との関わりを持たれていることが確認できました。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時より自治会に加入しており、地域の行事や集いに積極的に参加し、近隣の方々とも日常的に交流している。	町内会の一員として地域行事や清掃に参加し、地域とは良好な関係を築いておられます。また、小学生の職場体験や大学生の実習の受け入れなどを積極的に行い、地域との繋がりを大切に交流に取り組まれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	当苑には認知症アドバイザーがおり、地域の中の事業所や学校などで開かれる「認知症講座」へ参加・協力し、認知症への理解を深めるべく努力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、毎回活発な意見が飛び交い、日常のサービスのヒントとなることも多く、多に役立っている。	会議には、家族、地域代表、地域住民、消防署、大学教授などが参加されています。会議を利用して勉強会を実施し、栄養士による食事管理の話や消防署から防災について講義してもらうなど、身近な暮らしをテーマにした内容を主に実施し、地域で暮らし続けるために何が必要なのか検討されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所より受け入れを依頼された方への他のサービス(法的援助、立会等)のアドバイスを頂きながら、苑としての援助をさせて頂いている。	市担当者とは、在宅生活が難しくなった人の支援方法などについて相談や助言をもらうなど、日頃から協力関係を築いておられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は原則行わない方針を開設時より貫いている。玄関はエアコン必要時以外網戸とし、裏口、窓はいつも無施錠とし職員による安全確保の上で本人の意思通り自由に入出入りしていただいている。</p>	<p>身体拘束をしないケアを基本に支援されています。閉塞感を感じないよう施錠しない環境を整え、外出傾向がある入居者には、職員が付き添い散歩に出かけるなど、自由な暮らしの支援に努められています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的に研修の機会を設け(本社研修も含む)職員の知識の向上に努め、日々の業務の中で生かせるよう職員間相互で確認しあっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>定期的に職員研修し必要と思われる方については市町とも連携を取りながらきちんと活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に於いて施設長、看護師、ケアマネジャーはゆっくりと十分な時間を取りながら説明し、理解・納得して頂くように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的に家族の面会が多く、都度御要望をうかがえる環境にあり、2ヶ月に一度の運営推進会議では、毎回、地域代表や知見を有する外部の参加を頂き、参考となる意見も多くあり、運営に多いに役立っている。</p>	<p>家族が面会に訪れた際には、必ず話しをする時間を設け、気さくに何でも話せる関係を築きながら気づきや意見に応えられるよう努力されています。食べ物の好みや着替え、外出など、暮らしの中での意見が出され、運営に反映できるよう取り組まれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1度定期的に関くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席があり、管理者とともに職員の意見や提案をきちんと聞き、運営に反映させるべく努めている。</p>	<p>管理者は、職員が持つ能力が発揮できるよう、職階や経験に応じた助言を心がけておられます。また、お互いに厳しい意見を言える関係を築き、入居者主体のケアとなるよう努められています。スタッフ会議では、法人代表も出席し、職員の意見や提案を直接聞き、運営に反映できるよう体制を整えておられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者や管理者は日常業務の中で本人の勤務状況を公平に把握し、昇給・賞与等に反映させている。又、スタッフ会議に於いての職員の意見を実行にうつし、やる気や向上心をもって働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者や管理者は職員の必要とする研修を受講できるよう配慮し、それを全職員に周知できるよう本社にて伝達研修を行ない各施設に持ち帰ってスキルアップできるよう図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム事業者交流会の会員として、日常的に交流しており、その研修にも積極的に参加して情報の交換を行ないサービスに役立っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前又は、入所時、本人様に面談し、思いをお聞きし、意思を尊重しながら支援させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前又は、入所時、家族様に思いをお聞きし、意思を尊重している。不安等があれば解消できるまで傾聴し、コミュニケーションを主とした連携に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様の「ADL」や「思い」等を正確に把握し、必要と思われるサービスを見極め、他のサービスが必要と考えられる時はその都度対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活で職員と共に行う食事作りや掃除、裁縫などは教えていただく事も多くあり、職員との心の交流の生まれる機会として大切にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様には面会は勿論、昼食を兼ねた外出、自宅への外泊など積極的にお願いをし、又、苑より日常生活の様子などは、こまめに連絡をとり、家族の絆を大切にしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>古い友人、近所の人などなじみの方々の来苑も多く、リビングで歓談される方もあり懐かしい時間を過ごしていただいている。</p>	<p>家族、友人、近所付き合いのあった人など、多くの方が入居者を訪ねて来られます。入居後は、職員や入居者同士、地域住民との新たな馴染みの関係が築かれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	自然と気のあう方々同士が語り合われたり、時には一緒に入浴されたりと利用者同士で仲良く過ごされる場面が多くある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時も必要に応じて相談・援助を行い、少しでもお力になれるように努力している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランに本人様の意向を反映できるように日頃から本人様の意向に耳を傾けるように全職員が心掛け、申し送りや連絡ノートを活用しながら報告しあっている。	入居時に得た情報と共に、日々の関わり中で得た新たな情報の把握を職員全体で共有し、その人らしい支援となるよう努力されています。意思表示が難しい入居者には、気持ちや行動を見ながら思いや希望の把握に努め、細かいところまで記録に残し、申し送り時に職員全体で共有し支援に活かしておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を用いたり、入所前までどのように暮らしておられたのか本人様又は、御家族にお聞きし、生活歴等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人一人の生活スタイル・残存能力・心身の状態は日々変化する為、その都度記録にとどめ、全職員が把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・家族様の意向及び看護師・介護職員から聞き取りした内容をケアマネジャーがまとめ、本人様の現状に即したケアプランを作成している。</p>	<p>6か月毎にモニタリングを行い、年1回、計画の見直しを実施されています。入居者の状況を踏まえて、専門職の意見や家族の要望などを聞きながら、現状に即した計画作成に取り組まれています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>看護師・介護職員・ケアマネジャーは、利用者様の状態をそれぞれの視点から記入している。又、毎日の申し送り時において、出勤している全職員が一言ずつ「気づき」を述べ、必ず記録に残し、情報を共有できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常に本人様の思いに耳を傾け、インフォーマルなサービスを活用し、出来るだけ希望に添えるように努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>積極的に地域行事に参加したり、日々の生活にメリハリをつけ、楽しみのある日常生活を送って頂けるように粘土クラフト・ペン習字・民謡などをボランティアの方々の協力を得て、定期的開催している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所時には、苑の協力病院の説明もするが、本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由であることを説明し、選んで頂いている。2週間の一度の往診に加えて、必要時の受診を行いながら適切な医療の提供を努めている。</p>	<p>従来のかかりつけ医とホームの協力医療機関どちらかの受診を選択することができます。夜間や急変時には、適切な医療を受けられるよう協力医療機関と綿密に連携を図っておられます。また、ホームには看護職員が4人おり、いざという時に迅速に対応できるよう、体制を整えておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>朝の申し送り時には、職員全員でその日の「気づき」を発表する場があり、又、日々の業務の中でも、少しの変化も看護師と連絡をとるような体制が整っており、医師へすみやかな報告ができ、早期発見・治療に役立っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、こまめに病院や家族に連絡をとり、本人様のADL・体調面の状態を確認しながら、状況に応じて早期退院を提案している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時は、「重度化」について説明を行い、その必要時には、御家族や医師・職員と話し合いを持ち、施設としての対応を理解し、納得して頂いた上で支援させて頂いている。</p>	<p>ホームでの看取りを希望する入居者や家族の声があり、状態を見ながらできる限りの支援に努めておられます。医師を中心に、職員、家族が協力し合いながら支援に取り組まれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員は定期的に研修を行ない急変時の対応について学んでいる。スタッフ会議に於いてはNSより処置方法、用具の使用方法など具体的に指導があり全員で訓練している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防訓練は月一回、利用者とともに必ず行ない、夜間での訓練も夜勤者全員が必ず行うこととしている。又、地域の自主防災組織の一員として、危険地域のマップ作りも参加させていただいている。</p>	<p>ホームの避難訓練に、家族や地域住民の参加があります。地域の防災マップ作成には、ホーム職員も作成メンバーとして参加されています。また、災害発生時には、ホームを一時避難場所として地域に呼びかけるなど、協力体制を整えられています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的に研修を行い、プライバシーや人格を尊重したケアの実施に努め、日常の業務の中でも職員同士注意しあえるコミュニケーション作りにも努めている。	入居者の生活歴を日々の生活の中や、家族、友人から情報収集し、入居者ごとの言葉かけや対応を大切にされています。職員は、入居者への言葉づかいや目線に気をつけながら、人格を尊重した対応が伺えました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる時、思いを語って頂ける事が多い為、散歩や入浴時等を利用して思いを聞き、出来るだけその思いを具体化できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	理念に基づき、本人様各々の生活リズムを大事にしながら、起床・食事・就寝時間等は、本人様のペースを大事に支援している。外出等の希望は、出来る限り尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時には、自分の好みの洋服を選んで頂いたり、訪問理美容に来苑して頂き、いつも「身きれい」でいて頂くよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	召し上がりたいものを出来るだけメニューに取り入れ(特にお寿司が好評)、手伝って頂きながら共に作っている。片付けは特に人気があり、希望される利用者様に平等に行って頂くよう気配りしながら支援している。	献立は、家庭料理を中心に入居者のリクエストを反映した食事を提供されています。時には、外食に出かけ気分転換を図りながら、楽しく食事できるようメリハリのある支援を大切にされています。調理や後片づけを手伝う生き生きとした入居者の表情から、役割を持つことで張りのある生活が送れていることが伺えました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>「脱水」には特に気を付けており、1日の必要摂取量は1500cc前後と設定。職員は1日の体調にも気配りしながらお一人お一人の嗜好も考え提供して、水分補給の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアには必ず仕上げ磨きを行い、清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>着床時間を見直したり、排泄表を利用し、個々の排尿パターンをつかみ、パット交換の時間を見直すことで、尿もれが減少した。利用者様の状態を観察しながら、リハビリから布パンツにその都度移行している。</p>	<p>入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導をされています。夜間もなるべくポータブルトイレを使用せず、職員が付き添いトイレ誘導されています。リハビリパンツから布パンツに変更するなど、排泄の自立に向けた支援を行っておられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>1日の食事の中に乳酸菌や繊維質のものを多く取り入れ、水分摂取量の目安も1500cc程度を目標に支援を行い、毎朝ラジオ体操や散歩を取り入れ、自力排便を促すように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の声掛けに気分が乗らず、拒否される時は、時間・日を変える等の工夫をしている。又、ご近所より、大量の「ゆず」を頂いた時は、ゆず風呂にし、利用者様に喜んで頂いている。</p>	<p>週2回以上の入浴を基本に支援されていますが、必要に応じて随時入ることができます。仲の良い入居者同士で入る人や、一人でゆっくり入る人など、一人ひとりの個性に合わせて入浴を楽しめるよう支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	こまめな声かけを行い、楽な姿勢で休息出来るよう努めている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	常に本人様の思いに耳を傾け、インフォーマルなサービスなどを活用し、出来るだけ希望添えるよう努力している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	職員は日常生活の中で個々の好みや楽しみごとを把握し、個別対応している。役割や気分転換の方法等も各々違うのでその都度声かけ、話し合いしながら支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日常生活のなかでの外出、散歩はお一人お一人に合わせて行っている。又、年に数回の全員での外出は精一杯楽しんでいただけのような企画を考え提供している。(花見・紅葉狩り・美術館など)	日常的には、ホーム周辺の散歩や近隣商店での買い物などへ出かけておられます。また、行事計画では、遠方に出かける機会を盛り込み気分転換につなげておられます。懐かしい場所に出かけ、入居者の笑顔が引き出せる外出支援に努めておられます。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	現在、入居されておられる方で金銭管理出来る方がおられない為、全員事務所に保管させて頂いているが、必要時いつでも使えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自分から手紙を出される事はないが、届いた手紙については、本人様にお渡ししている。電話の取りつぎは、自由とし、本人様の希望があれば、その都度かけて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用スペースはいつも季節の花をたやさないよう、又温度・湿度の管理を徹底して行い、いつも気持ちよく過ごしていただけるよう配慮している。	自然光が差し込む広いリビングでは、入居者がそれぞれお気に入りの場所で寛げるよう、椅子やベンチが置かれています。訪問当日は、学生ボランティアによる音楽療法を実施しており、言葉遊びや発声練習を交えて歌ったり、笑ったり、楽しい時間を過ごしておられました。共有空間の中で、テレビを観たり手芸をしたりするなど、入居者が思い思いに自由に過ごせるよう工夫されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	本人様の意思を尊重し、いつもどうされたいのか考え、都度対応している。気の合う利用者同士がお互い触れ合う場所を提供し楽しい時間を過ごしていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前、自宅で使っておられた家具や小物等を持参していただき自分の部屋として、居心地の良い場所で居心地よく過ごしていただけるよう努めている。	入居者は、ぬいぐるみや寝具、タンス、編み物道具など、使い慣れた物や愛着のある物を持ち込まれています。明るい部屋を好まない入居者には、遮光カーテンを設置するなど、本人が落ち着ける環境となるよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	独歩の方や車椅子の方が歩行しやすいよう廊下やリビングを広く設計されており、手すりや安全を確保し、職員全員による見守りの中、穏やかで自立した日々の生活が送れるよう支援している。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開設時、職員全員で作った「理念」を毎朝申し送り時に唱和し、職員全員の周知徹底を図り、毎日その「理念」に添うサービスを提供出来るよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時より自治会に加入しており、地域の行事や集会に積極的に参加し、近隣の方々とも日常的に交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	当苑には認知症アドバイザーがおり、地域の中の事業所や学校などで開かれる「認知症講座」へ参加・協力し、認知症への理解を深めるべく努力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、毎回活発な意見が飛び交い、日常のサービスのヒントとなることも多く、多いに役立っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市役所より受け入れを依頼された方への他のサービス(法的援助、立会等)のアドバイスを頂きながら、苑としての援助をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は原則行わない方針を開設時より貫いている。玄関はエアコン必要時以外網戸とし、裏口、窓はいつも無施錠とし職員による安全確保の上で本人の意思通り自由に入出入りしていただいている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的に研修の機会を設け(本社研修も含む)職員の知識の向上に努め、日々の業務の中で生かせるよう職員間相互で確認しあっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>定期的に職員研修し必要と思われる方については市町とも連携を取りながらきちんと活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に於いて施設長、看護師、ケアマネジャーはゆっくりと十分な時間を取りながら説明し、理解・納得して頂くように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的に家族の面会が多く、都度御要望をうかがえる環境にあり、2ヶ月に一度の運営推進会議では、毎回、地域代表や知見を有する外部の参加を頂き、参考となる意見も多くあり、運営に多いに役立っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1度定期的に関くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席があり、管理者とともに職員の意見や提案をきちんと聞き、運営に反映させるべく努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者や管理者は日常業務の中で本人の勤務状況を公平に把握し、昇給・賞与等に反映させている。又、スタッフ会議に於いての職員の意見を実行にうつし、やる気や向上心をもって働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者や管理者は職員の必要とする研修を受講できるよう配慮し、それを全職員に周知できるよう本社にて伝達研修を行ない各施設に持ち帰ってスキルアップできるよう図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム事業者交流会の会員として、日常的に交流しており、その研修にも積極的に参加して情報の交換を行ないサービスに役立っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前又は、入所時、本人様に面談し、思いをお聞きし、意思を尊重しながら支援させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前又は、入所時、家族様に思いをお聞きし、意思を尊重している。不安等があれば解消できるまで傾聴し、コミュニケーションを主とした連携に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様の「ADL」や「思い」等を正確に把握し、必要と思われるサービスを見極め、他のサービスが必要と考えられる時はその都度対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活で職員と共に行う食事作りや掃除、裁縫などは教えていただく事も多くあり、職員との心の交流の生まれる機会として大切にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様には面会は勿論、昼食を兼ねた外出、自宅への外泊など積極的にお願いをし、又、苑より日常生活の様子などは、こまめに連絡をとり、家族の絆を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>古い友人、近所の人などなじみの方々の来苑も多く、リビングで歓談される方もあり懐かしい時間を過ごしていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	自然と気のあう方々同士が語り合われたり、時には一緒に入浴されたりと利用者同士で仲良く過ごされる場面が多くある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時も必要に応じて相談・援助を行い、少しでもお力になれるように努力している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランに本人様の意向を反映できるように日頃から本人様の意向に耳を傾けるように全職員が心掛け、申し送りや連絡ノートを活用しながら報告しあっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を用いたり、入所前までどのように暮らしておられたのか本人様又は、御家族にお聞きし、生活歴等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人一人の生活スタイル・残存能力・心身の状態は日々変化する為、その都度記録にとどめ、全職員が把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・家族様の意向及び看護師・介護職員から聞き取りした内容をケアマネジャーがまとめ、本人様の現状に即したケアプランを作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>看護師・介護職員・ケアマネジャーは、利用者様の状態をそれぞれの視点から記入している。又、毎日の申し送り時において、出勤している全職員が一言ずつ「気づき」を述べ、必ず記録に残し、情報を共有できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常に本人様の思いに耳を傾け、インフォーマルなサービスを活用し、出来るだけ希望に添えるように努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>積極的に地域行事に参加したり、日々の生活にメリハリをつけ、楽しみのある日常生活を送って頂けるように粘土クラフト・ペン習字・民謡などをボランティアの方々の協力を得て、定期的開催している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所時には、苑の協力病院の説明もするが、本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由であることを説明し、選んで頂いている。2週間の一度の往診に加えて、必要時の受診を行いながら適切な医療の提供を努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>朝の申し送り時には、職員全員でその日の「気づき」を発表する場があり、又、日々の業務の中でも、少しの変化も看護師と連絡をとるような体制が整っており、医師へすみやかな報告ができ、早期発見・治療に役立っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、こまめに病院や家族に連絡をとり、本人様のADL・体調面の状態を確認しながら、状況に応じて早期退院を提案している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時は、「重度化」について説明を行い、その必要時には、御家族や医師・職員と話し合いを持ち、施設としての対応を理解し、納得して頂いた上で支援させて頂いている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員は定期的に研修を行ない急変時の対応について学んでいる。スタッフ会議に於いてはNSより処置方法、用具の使用方法など具体的に指導があり全員で訓練している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防訓練は月一回、利用者とともに必ず行ない、夜間での訓練も夜勤者全員が必ず行うこととしている。又、地域の自主防災組織の一員として、危険地域のマップ作りも参加させていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的に研修を行い、プライバシーや人格を尊重したケアの実施に努め、日常の業務の中でも職員同士注意しあえるコミュニケーション作りに努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる時、思いを語って頂ける事が多い為、散歩や入浴時等を利用して思いを聞き、出来るだけその思いを具体化できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	理念に基づき、本人様各々の生活リズムを大事にしながら、起床・食事・就寝時間等は、本人様のペースを大事に支援している。外出等の希望は、出来る限り尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時には、自分の好みの洋服を選んで頂いたり、訪問理美容に来苑して頂き、いつも「身きれい」でいて頂くよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	召し上がりたいものを出来るだけメニューに取り入れ(特にお寿司が好評)、手伝って頂きながら共に作っている。片付けは特に人気があり、希望される利用者様に平等に行って頂くよう気配りしながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>「脱水」には特に気を付けており，1日の必要摂取量は1500cc前後と設定。職員は1日の体調にも気配りしながらお一人お一人の嗜好も考え提供して，水分補給の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアには必ず仕上げ磨きを行い，清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>着床時間を見直したり，排泄表を利用し，個々の排尿パターンをつかみ，パット交換の時間を見直すことで，尿もれが減少した。利用者様の状態を観察しながら，リハパンから布パンツにその都度移行としている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>1日の食事の中に乳酸菌や繊維質のものを多く取り入れ，水分摂取量の目安も1500cc程度を目標に支援を行い，毎朝ラジオ体操や散歩を取り入れ，自力排便を促すように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の声掛けに気分が乗らず，拒否される時は，時間・日を変える等の工夫をしている。又，ご近所より，大量の「ゆず」を頂いた時は，ゆず風呂にし，利用者様に喜んで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	こまめな声かけを行い、楽な姿勢で休息出来るよう努めている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	常に本人様の思いに耳を傾け、インフォーマルなサービスなどを活用し、出来るだけ希望添えるよう努力している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	職員は日常生活の中で個々の好みや楽しみごとを把握し、個別対応している。役割や気分転換の方法等も各々違うのでその都度声かけ、話し合いしながら支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日常生活のなかでの外出、散歩はお一人お一人に合わせて行っている。又、年に数回の全員での外出は精一杯楽しんでいただけような企画を考え提供している。(花見・紅葉狩り・美術館など)		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	現在、入居されておられる方で金銭管理出来る方がおられない為、全員事務所に保管させて頂いているが、必要時はいつでも使えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>自分から手紙を出される事はないが、届いた手紙については、本人様にお渡ししている。電話の取りつぎは、自由とし、本人様の希望があれば、その都度かけて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用スペースはいつも季節の花をたやさないよう、又温度・湿度の管理を徹底して行い、いつも気持ちよく過ごしていただけるよう配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>本人様の意思を尊重し、いつもどうされたいのか考え、都度対応している。気の合う利用者同士がお互い触れ合う場所を提供し楽しい時間を過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前、自宅で使っておられた家具や小物等を持参していただき自分の部屋として、居心地の良い場所で居心地よく過ごしていただけるよう努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>独歩の方や車椅子の方が歩行しやすいよう廊下やリビングを広く設計されており、手すりや安全を確保し、職員全員による見守りの中、穏やかに自立した日々の生活が送れるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム ほのぼの苑 長東

作成日 平成 25 年 5 月 31 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		ケアプランが職員一人ひとりのケアに活かせていない。	ケアプランに添ったケアを全職員が行っていく。	毎月, ケアプランの実施状況を報告書にて提出してもらう (介護職員・NS)。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。